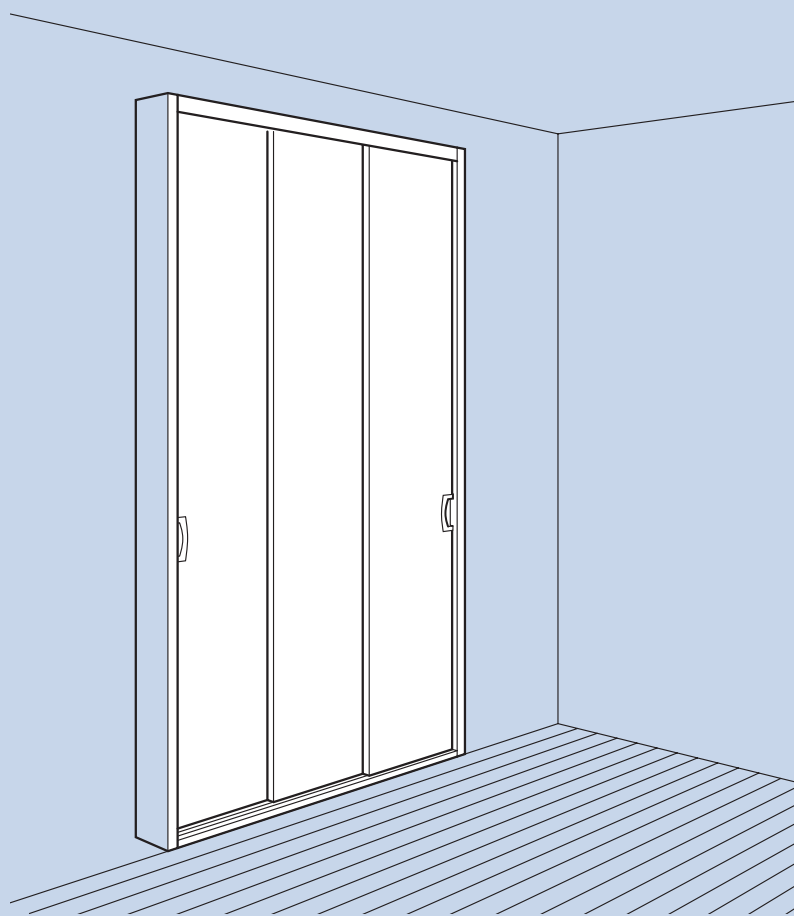
アメニティデザイン企業

施工説明書
施工業者様用

クローク収納X10 RⅢシリーズ

引戸ユニット

フラットタイプ［固定枠］
カマチタイプ［固定枠］
縦框タイプ［固定枠］

もくじ

●この製品の性能と安全性を確保するために、この施工説明書をよくお読みいただき、手順通りに正しく施工してください。

●この説明書に出てくる⚠**注意**や ◇ **施工上のご注意**は、施工上重要な内容が記載されていますので、注意深く読み、よく理解してから作業してください。

大建工業株式会社

クローク引戸-S120803

1. 安全上のご注意（必ずお守りいただきたいこと）

この説明書に書かれた注意事項は、施工される人への危害や、お使いになる人への危害や物的損害を防ぐためのものです。必ずお守りください。

危険の定義とシンボルマーク

この説明書では、「注意事項」を以下のような定義で使用しています。

⚠警告

取扱を誤った場合、施工者または使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合

⚠注意

取扱を誤った場合、施工者または使用者が傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害の発生が想定される場合

⚠注意

- **この製品の施工は、記載された手順通りに行ってください。**

  誤った手順で施工しますと、この製品の性能と安全性が確保できません。

- **この製品を取り付ける開口部は、幅・高さ寸法を充分に確保し、柱の垂直、床・まぐさの水平を、下げ振りや水準器などでよく確認してください。**

  この製品の性能と安全性が確保できません。

- **この製品を単なる据え置きや、強度のない天井や壁に取り付けないでください。**

  製品の転倒や落下によるけがや破損の原因になります。

- **この製品の施工は、必ず2人以上で行ってください。**

  1人で無理な施工を行いますと、枠のねじれなどにより、この製品の性能が確保できない恐れがあります。

- **扉をはめ込むときは、戸車を下レールに確実にはめ込んでください。**

  扉が外れて、けがや破損の恐れがあります。

- **この製品の分解や改造はしないでください。**

  製品強度が失われ、けがや破損の原因になります。

2. 施工上のご注意

- **施工までの間、製品を立てかけたり、不安定な場所に置いたりしないでください。**

  扉や枠の反り・キズの原因になります。

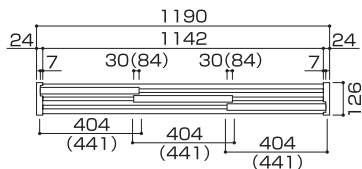
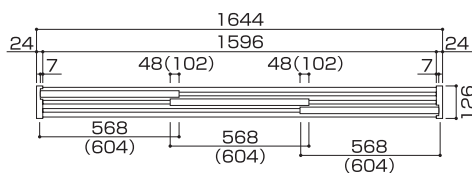
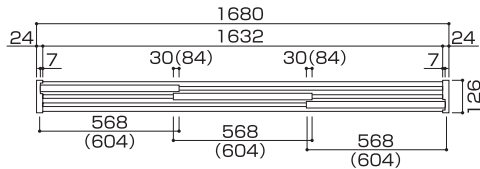
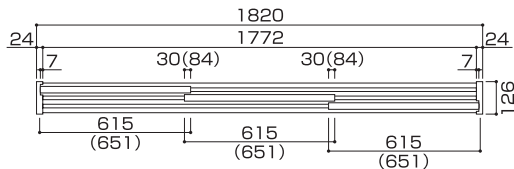
- **施工後、引渡しまでの間に、長時間直射日光が当たる場合や、室内が高温多湿になる場合は、扉の養生や室内の換気を行ってください。**

  扉が反る恐れがあります。

- **本製品は床仕上材が木質フロアー以外のところにはご使用いただけません。**
  クッション性のあるフロアや、タイルなどには使用しないでください。

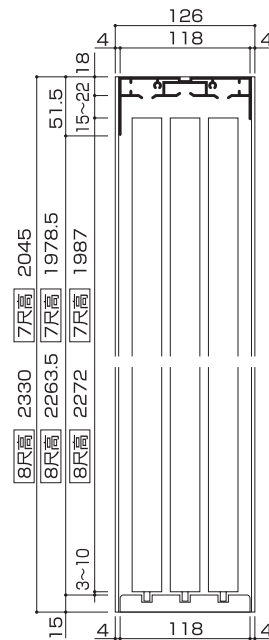
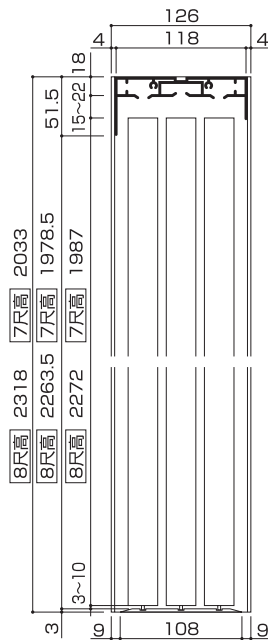
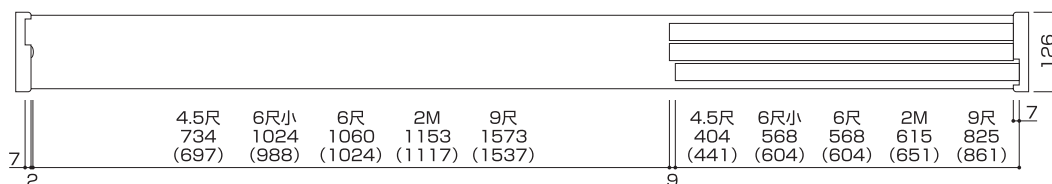
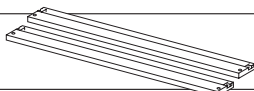
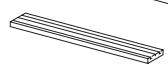
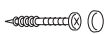
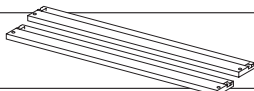
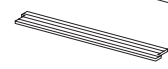
3. 製品寸法図

製品寸法図

4.5尺

6尺(小)

6尺

2M

9尺

※(　)内の寸法はカマチ・縦框タイプを示す。

断面図

四方枠(固定枠)

三方枠(固定枠)

有効間口寸法図

※(　)内の寸法はカマチ・縦框タイプを示す。

4. 梱包部品の確認

開梱時、種類とタイプを確認し、下表を見ながら梱包部品を確認してください。

四方枠(固定枠)

部品名 ＼ タイプ	4.5尺間口	6尺小間口	6尺間口	2M間口	9尺間口	部品図・用途
縦枠	2					
下枠	1					
上ガイドレール	1 (L=1141)	1 (L=1595)	1 (L=1631)	1 (L=1771)	1 (L=2401)	
下レール	3 (L=1141)	3 (L=1595)	3 (L=1631)	3 (L=1771)	3 (L=2401)	
上枠(アルミ)	1					
スライドキャッチ	2					
縦枠調整ビス L50 (ユニクロ)	8					縦枠固定用 (キャップ付き)
スプーンネジ (クロメート) 3.5×50	8 (4個入り×2袋)					縦枠・上枠・下枠の 組立用
バインドネジ (GB) 3.5×35	14					上枠・上ガイドレール・ スライドキャッチの固定用

三方枠(固定枠)

部品名 ＼ タイプ	4.5尺間口	6尺小間口	6尺間口	2M間口	9尺間口	部品図・用途
縦枠	2					
直付レール	1					
上ガイドレール	1 (L=1141)	1 (L=1595)	1 (L=1631)	1 (L=1771)	1 (L=2401)	
上枠(アルミ)	1					
スライドキャッチ	2					
縦枠調整ビス L50 (ユニクロ)	8					縦枠固定用 (キャップ付き)
スプーンネジ (クロメート) 3.5×50	4					縦枠・上枠の 組立用
バインドネジ (GB) 3.5×35	14					上枠・上ガイドレール・ スライドキャッチの固定用
直付レール固定ネジ (GB) 3×12	9					直付レール固定用

扉

部品名＼タイプ	4.5尺間口	6尺小間口・6尺間口	2M間口	9尺間口 左・中扉	9尺間口 右　扉	部品図・用途
左扉	1			1	-	
中扉	1			1	-	
右扉	1			-	1	
ナベタッピングネジ(Ni) M4×20	2			2	-	連結ブロック 固定用

引手

引手	2	
皿ネジ3×20	4	

現場調達するもの

●四方枠の場合

パッキン用の板
下枠の固定用ネジ(皿頭)
当て木

必要な工具・道具

- 電動ドリル
- 手回しドライバー
- 下げ振り
- ハンマー
- 接着剤

など

ホルムアルデヒド発散区分

規制対象外(F☆☆☆☆)

構成部位	内装仕上げ部分(表面) ホルムアルデヒド発散建築材料		内装仕上げ部分(表面) 発散区分	内装仕上げ部分(表面) 認定番号	下地部分(裏面・内面) ホルムアルデヒド発散建築材料	下地部分(裏面・内面) 発散区分	下地部分(裏面・内面) 認定番号
扉 (引戸)	ポリサンド紙張 MDF	大臣認定品	規制対象外 (F☆☆☆☆)	MFN-0144	同左		

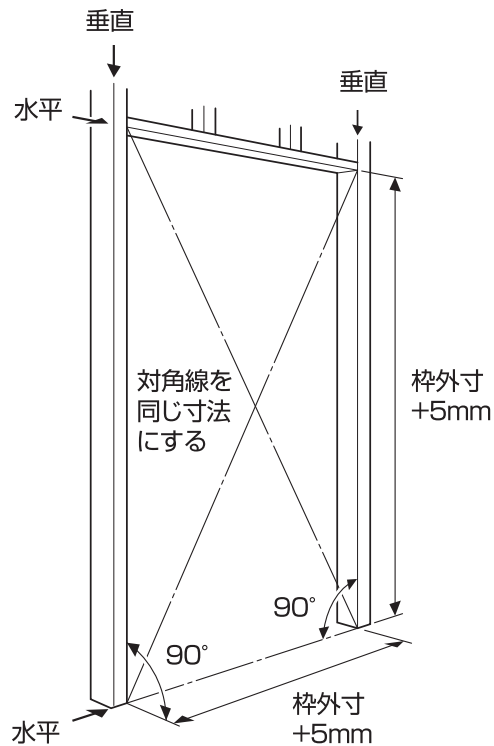
規制対象外部位・告示対象外

枠/見切り	規制対象外部位：規制対象外(F☆☆☆☆)同等品質材料を使用
戸車/レール/引手	告示対象外

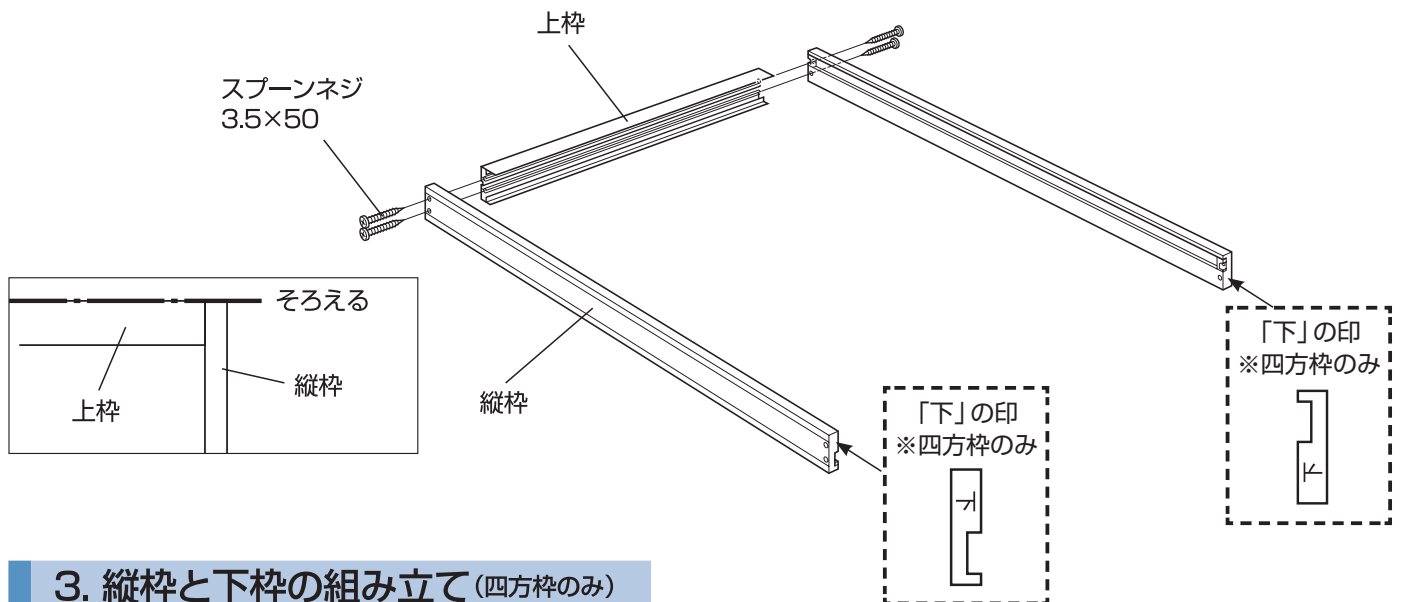
5. 施工のしかた

1. 開口部の準備

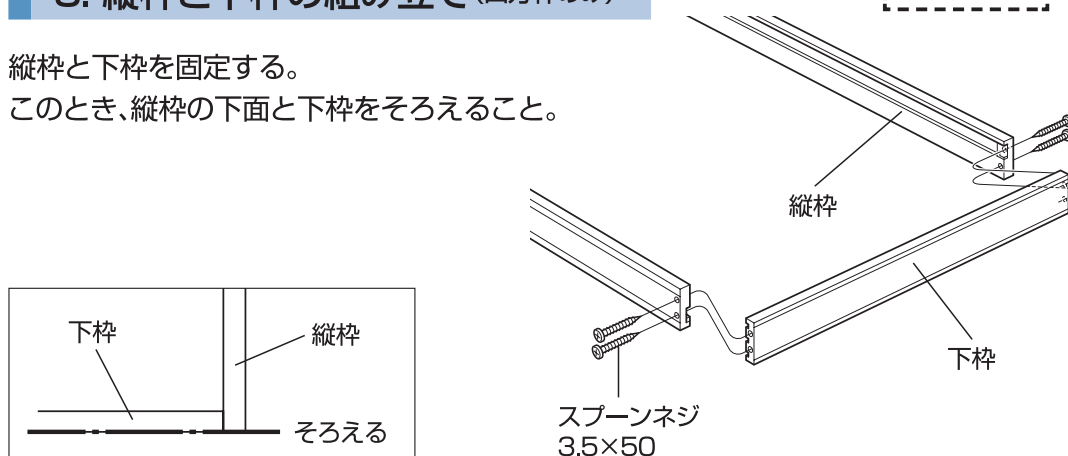
1. 開口部は、「製品寸法図」（2ページ）を参考にして、幅・高さ寸法を充分に確保すること。

2. 開口部の柱や壁の垂直、床・まぐさの水平を、下げ振りや水準器などでよく確認する。

2. 縦枠と上枠の組み立て

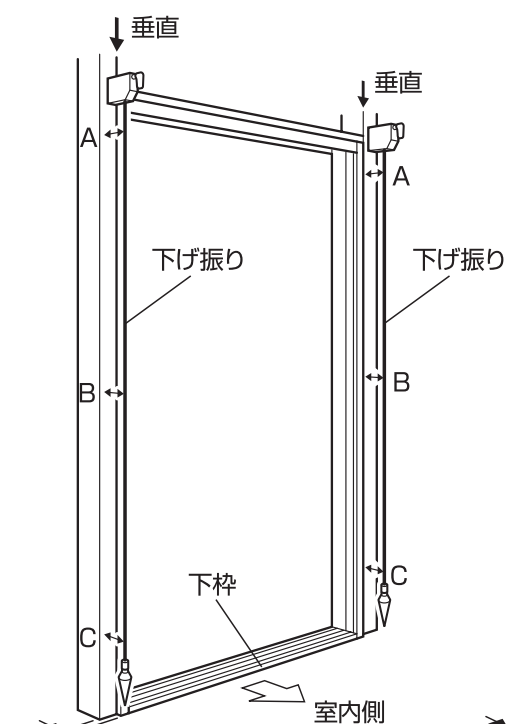
縦枠と上枠を固定する。
このとき、縦枠の上面と上枠をそろえること。

上枠
スプーンネジ
3.5×50
そろえる
縦枠
上枠
縦枠
「下」の印
※四方枠のみ
「下」の印
※四方枠のみ

3. 縦枠と下枠の組み立て（四方枠のみ）

縦枠と下枠を固定する。
このとき、縦枠の下面と下枠をそろえること。

縦枠
下枠
縦枠
そろえる
下枠
スプーンネジ
3.5×50

4. 開口部への枠のはめ込み

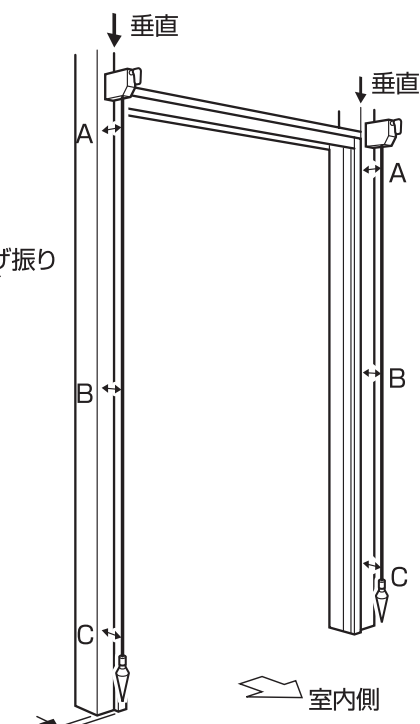
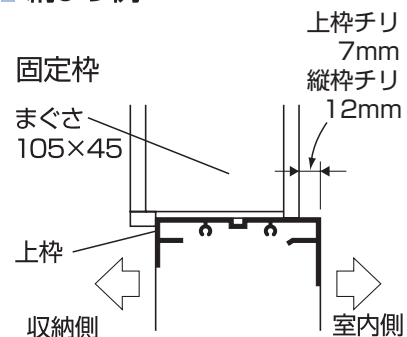
組立てた枠を開口部に、はめ込む。
※図は、固定枠の場合です。

四方枠

垂直
垂直
A
A
下げ振り
下げ振り
B
B
下枠
C
C
室内側
12mm
(固定枠の場合)
※A・B・Cを
同じ寸法にする

三方枠

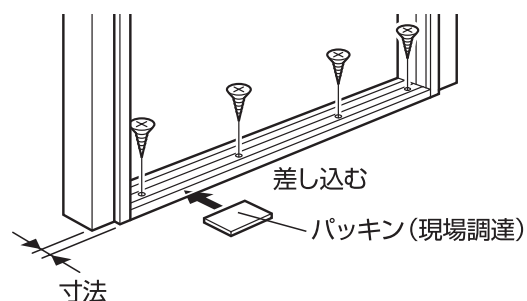
垂直
垂直
A
A
B
B
C
C
室内側
12mm
(固定枠の場合)
※A・B・Cを
同じ寸法にする

納まり例

固定枠
上枠チリ
7mm
縦枠チリ
12mm
まぐさ
105×45
上枠
収納側
室内側

> ◇ **施工上のご注意**
>
> このとき、枠がねじれないように注意すること。

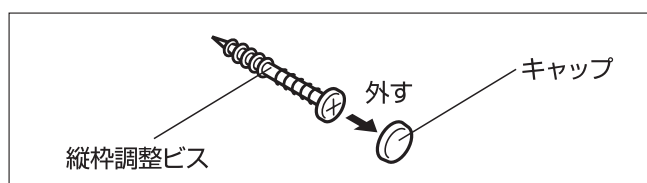
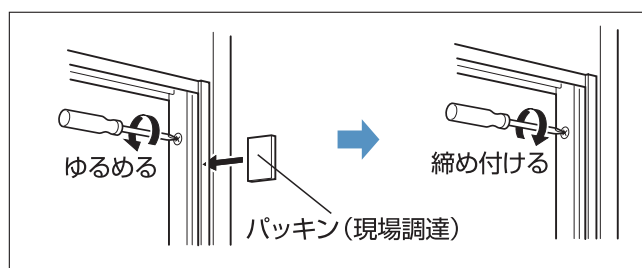
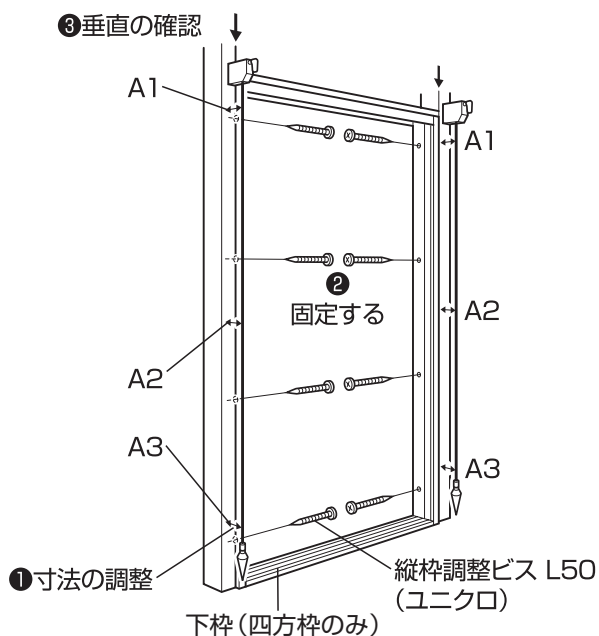
5. 下枠の固定(四方枠のみ)

1. 水準器などで下枠の水平を確認する。
水平が出ていないときは、パッキン(現場調達)を差し込んで水平にする。

2. もう一度、縦枠と柱の寸法を確認して、下枠を固定する。

5. 施工のしかた

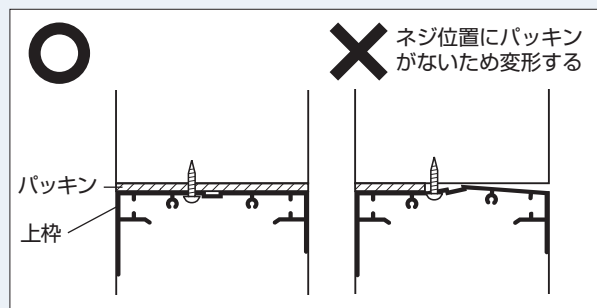
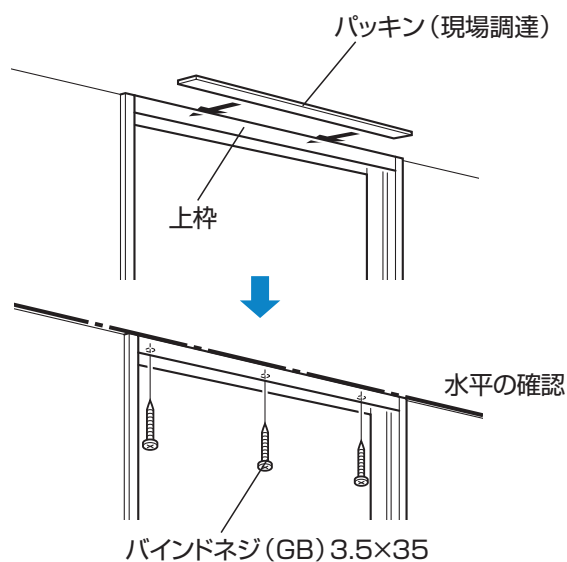
6. 縦枠の固定

1. 縦枠と下げ振りの寸法（A1・A2・A3）がすべて同じになるように、縦枠を調整する。

2. 縦枠調整ビスのキャップを外し、縦枠を固定する。
キャップは後で使用します。

3. 固定した縦枠の垂直を確認する。
垂直が出ていないときは、調整ビスをゆるめて縦枠と柱の間にパッキン（現場調達）を入れ、垂直を出してから調整ビスを締め付ける。

7. 上枠の固定

1. 上枠とまぐさのスキマにパッキン（現場調達）を入れる。

◇ 施工上のご注意

ネジは締めすぎないように注意すること。
上枠のレールが曲がる恐れがあります。

2. 上枠を固定した後、上枠の水平を確認する。

8. スライドキャッチの取り付け

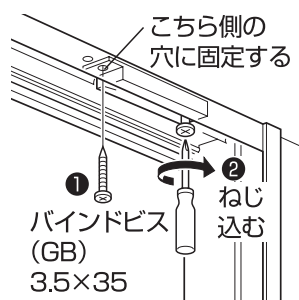
1. スライドキャッチのフックが右図の状態になっているか確認する。
右図の状態になっていない場合は、14ページの要領で調整する。

2. 上枠にスライドキャッチを差し込む。

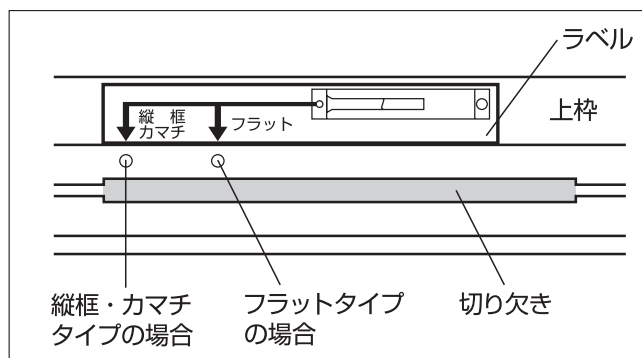
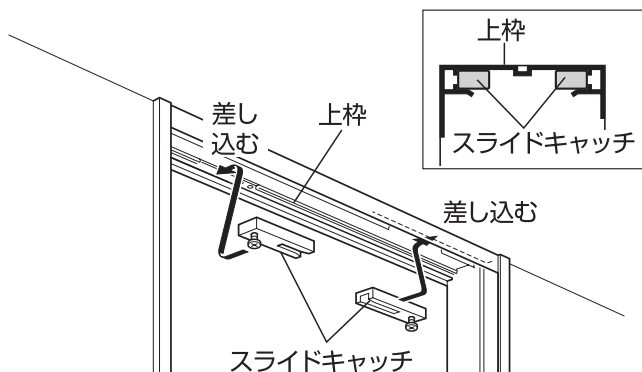
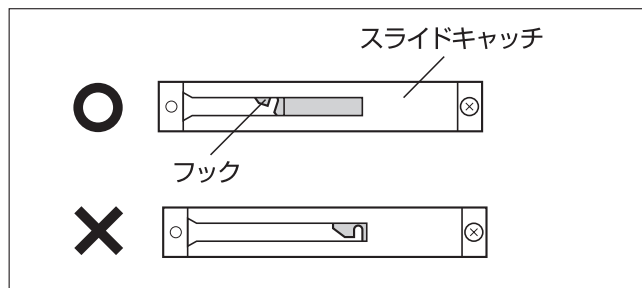
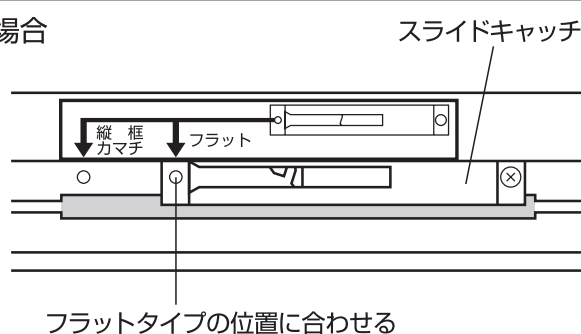
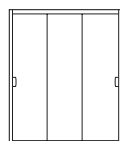
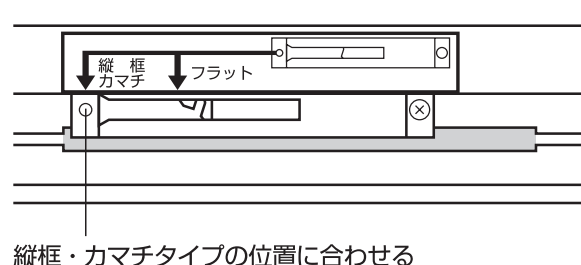
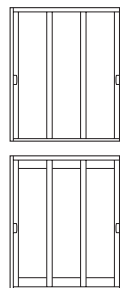
3. スライドキャッチは、扉のデザインによって取付位置が異なります。
上枠に貼り付けてあるラベルで、スライドキャッチのビス固定位置を確認する。

4. 右下の扉デザイン別のビス固定方法のイラストを参考にスライドキャッチを固定してください。

①上枠のビス固定位置とスライドキャッチのビス固定位置を合わせ、同梱のビス（GBバインド3.5×35）で固定する。

②スライドキャッチに付いている固定ビスを、手回しドライバーで締め込む。

5. 反対側も同じ要領でスライドキャッチを取り付ける。

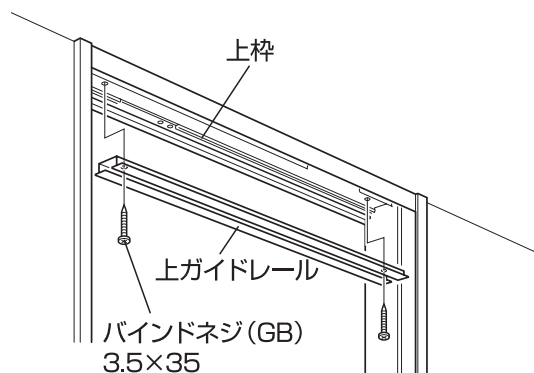
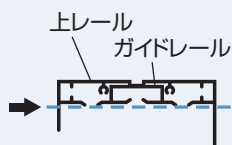
◇ 施工上のご注意

- スライドキャッチは、必ず2箇所（図の❶と❷）を固定すること。
2箇所を固定しないと、スライドキャッチが正常に作動しない恐れがあります。
- ネジは締めすぎないように注意すること。
上枠のレールが曲がる恐れがあります。

5. 施工のしかた

9. 上ガイドレールの取り付け

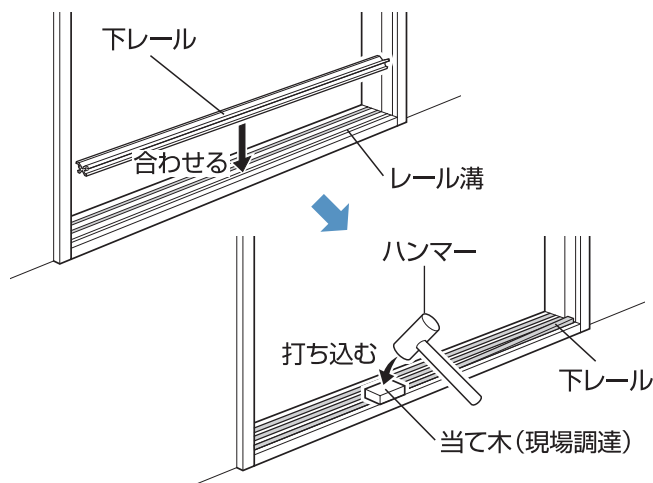
上枠に上ガイドレールを固定する。

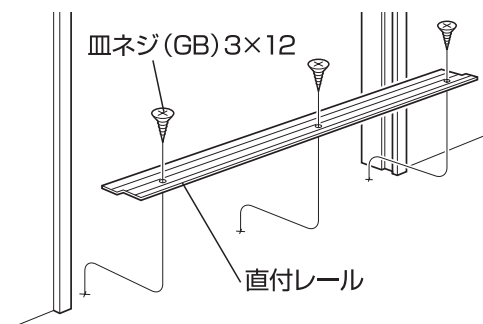
◆ 施工上のご注意

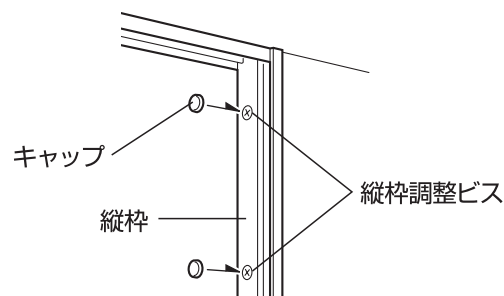
- ネジは締めすぎないように注意すること。上枠のレールや上ガイドレールが曲がる恐れがあります。
- 上レールとガイドレールが平行に取付いていることを確認してください。

10. 下レールの取り付け(四方枠のみ)

下枠のレール溝に下レールを合わせ、当て木(現場調達)をしながらハンマーで下レールを打ち込む。

◆ 施工上のご注意

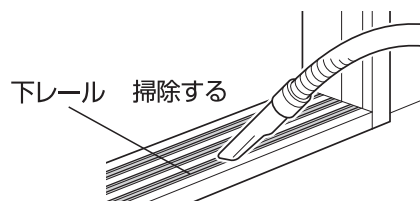
下レールは波うたないように注意すること。

11. 直付レールの取り付け(三方枠のみ)

直付レールを縦枠の戸じゃくり溝に合わせて固定する。

12. キャップの取り付け

縦枠の調整ビスの頭にキャップを取り付ける。

13. 扉の取り付け

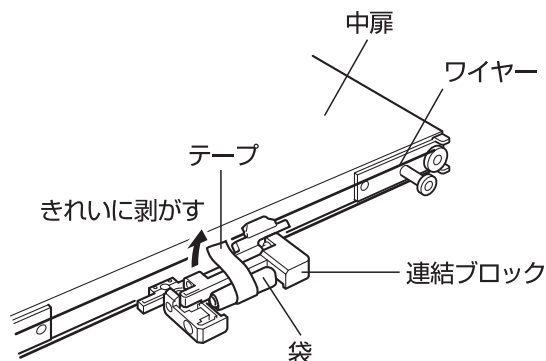
1. 下レールの木の切り屑やホコリをきれいに掃除する。

◆ 施工上のご注意

下レールに木の切り屑やホコリがあると扉の戸車に付着して、作動不良の原因になります。

2. 扉の梱包を開け、中扉上部の連結ブロックに貼り付けてある袋のテープをきれいに剥がす。

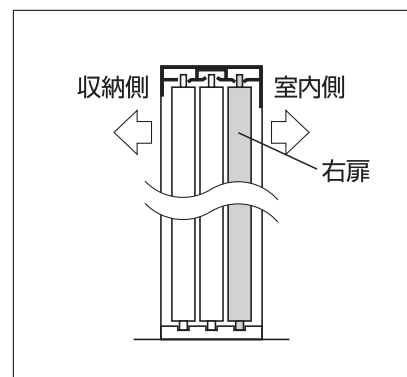
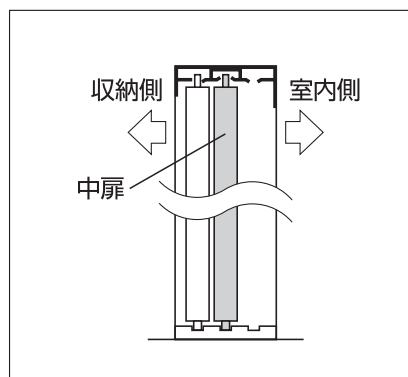
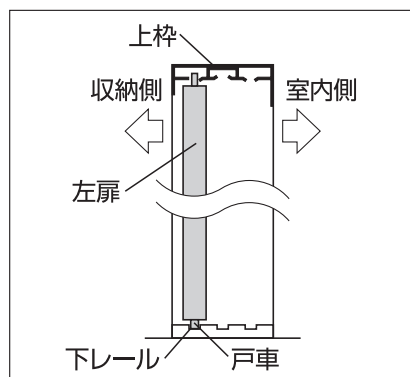
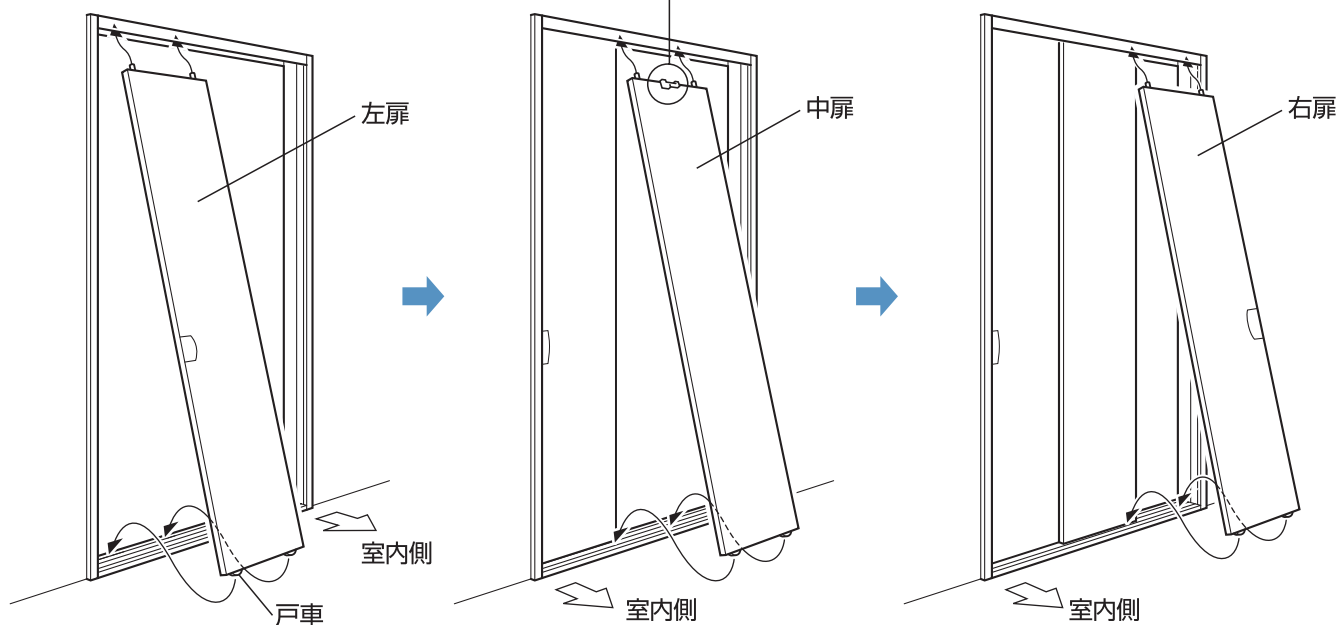
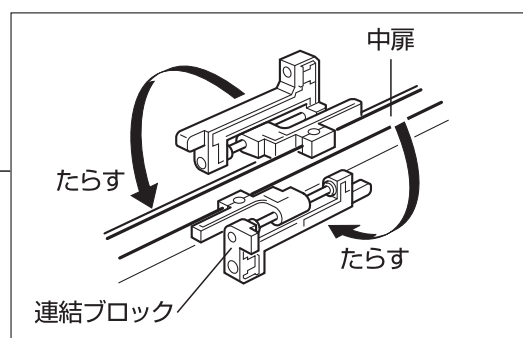
中扉
ワイヤー
テープ
きれいに剥がす
連結ブロック
袋

◆ 施工上のご注意

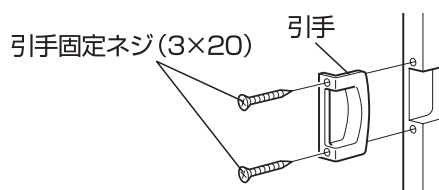
- 袋テープは、きれいに剥がすこと。
  テープが残っていると、作動不良の原因になります。
- 扉のワイヤーが外れたときは、13ページの「❹連動して扉が閉まらない。・❺ワイヤーが外れてしまった。」の要領でワイヤーをローラープレートに引っ掛けてください。

3. 左扉（奥の扉）・中扉・右扉の順にはめ込む。

⚠ 注意

●扉の戸車は下レールに確実にはめ込むこと。
扉が外れる恐れがあります。

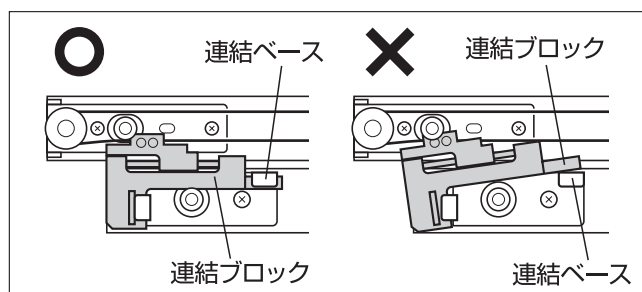
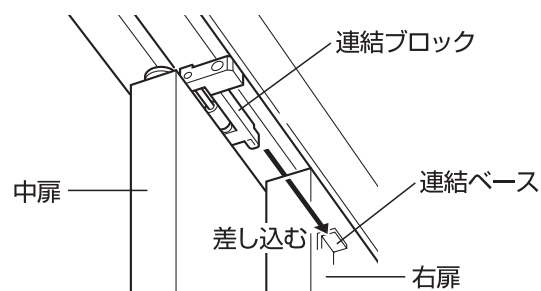
中扉
たらす
たらす
連結ブロック

5. 施工のしかた

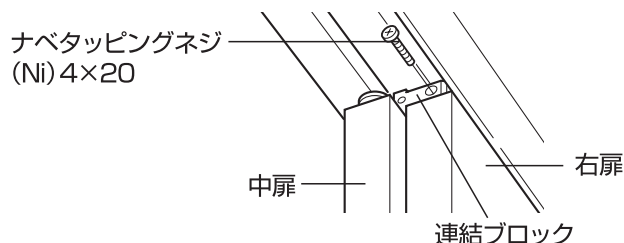
14. 引手の取り付け

左扉と右扉に引手を固定する。

15. 連動ユニットと扉の連結

1. 中扉上部の連結ブロックを、右扉の連結ベースに差し込む。

◇ 施工上のご注意

右扉の端面と連結ブロックの端面が、平行になっているか確認する。
斜めになっていると、正しく差し込まれていませんので注意すること。

2. 連結ブロックと連結ベースを固定する。

3. 中扉と左扉も同じ要領で連結する。

16. 施工後の確認と調整

「6.施工後の確認と調整」(次頁)を参考にして、不具合がないか確認する。

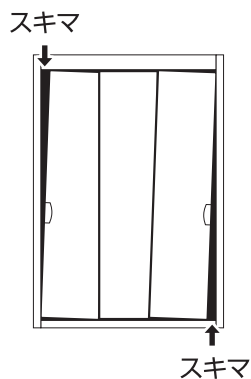
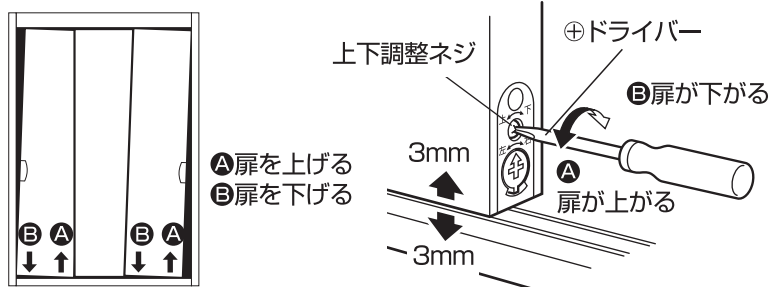
17. 施工後の養生

扉やレールにゴミやホコリが付着しないように、確実に養生すること。

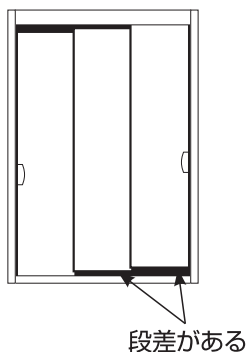
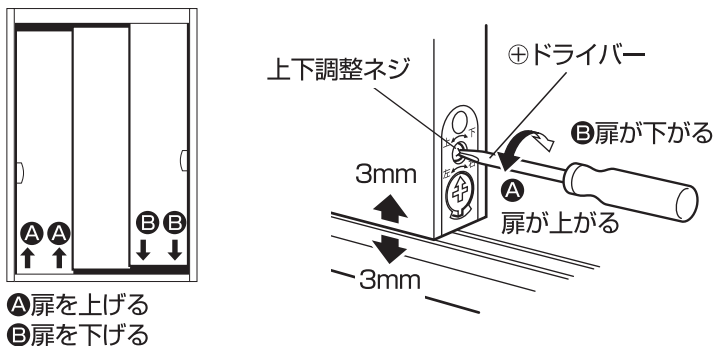
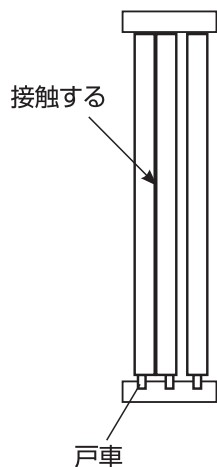
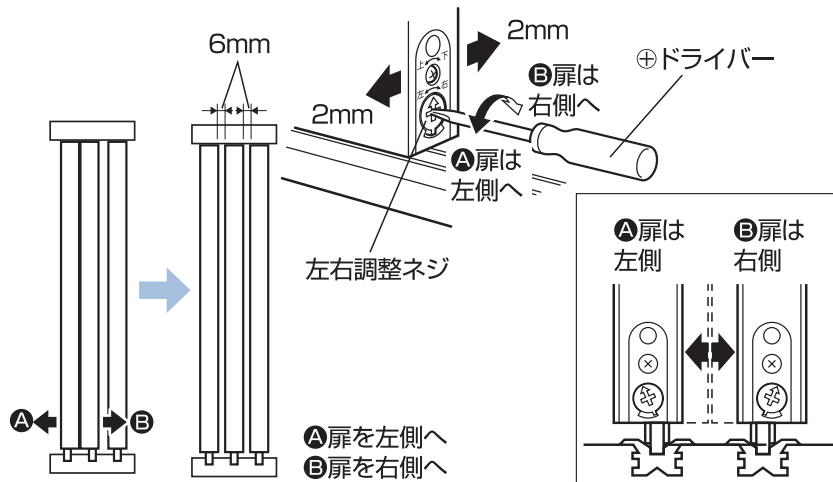
◇ 施工上のご注意

施工後、引渡しまでの間に、長時間直射日光が当たる場合や、室内が高温多湿になる場合は、扉の養生や室内の換気を行うこと。
扉が反る恐れがあります。

6. 施工後の確認と調整

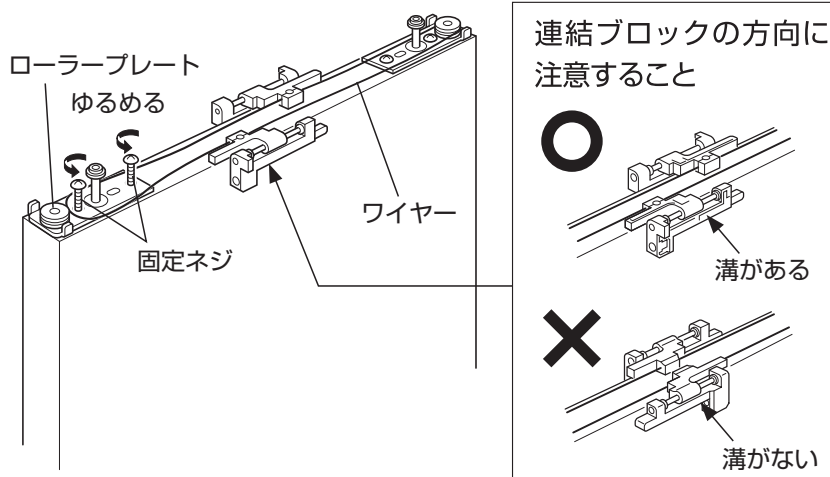
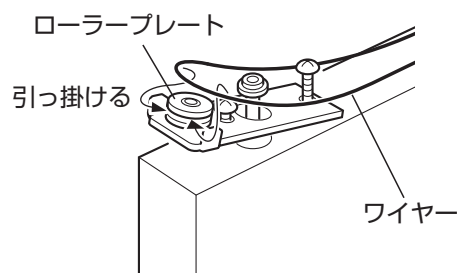
下記の要領で確認し、不具合があれば扉を調整する。

症状	処置
❶扉を閉めたとき、縦枠の上または下と扉の間にスキマができる。	戸車の上下調整ネジを、下図の要領で調整する。

◆ **調整時のご注意**

調整には、必ず手回しドライバーを使用すること。
電動ドライバーを使用すると、破損または故障の原因になります。

❷扉に段差がある

戸車の上下調整ネジを、下図の要領で調整する。

❸扉どうしが接触する。

戸車の左右調整ネジを、下図の要領で調整する。

6. 施工後の確認と調整

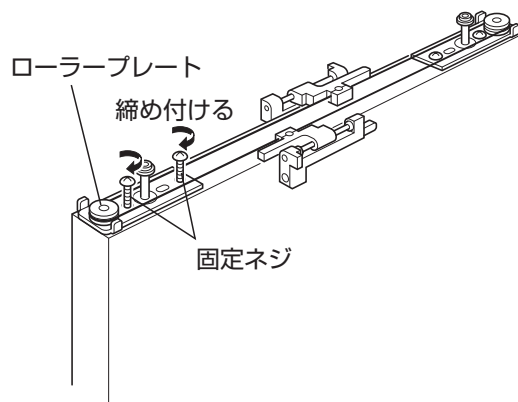
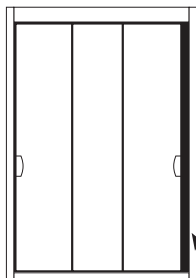
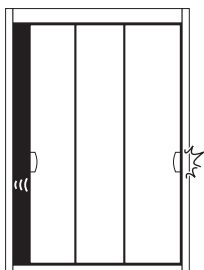
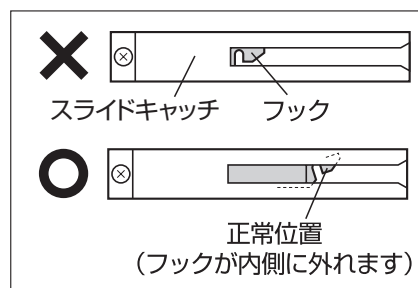
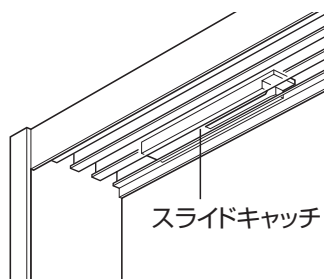
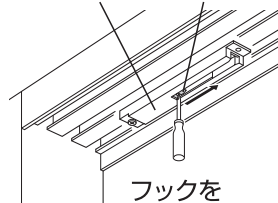
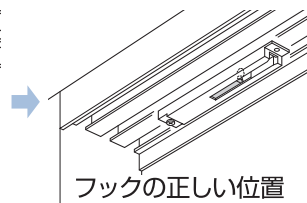
下記の要領で確認し、不具合があれば扉を調整する。

症状	処置
④連動して扉が閉まらない。 ⑤ワイヤーが外れてしまった。	扉を外し、ワイヤーが外れていないか確認する。 外れている場合は、以下の要領でワイヤーをローラープレートに引っ掛ける。

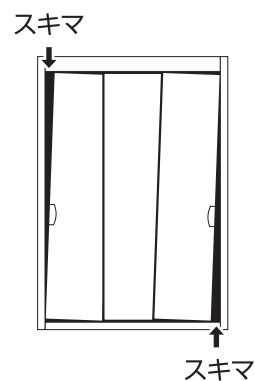
1. 外れた側のローラープレートの固定ネジをゆるめる。

2. ローラープレートにワイヤーを引っ掛ける。

3. ローラープレートの固定ネジを締め付ける。

〈ワイヤー取付時のご注意〉

ワイヤーは、たるまないように張ってください。

症状	処置

❻扉を閉めたとき、きっちり閉まらない。

❼扉を閉めると逆の扉が開く。

1. 下レールにゴミが詰まっていないか確認する。
   ゴミがあるときは掃除する。
2. 戸車が脱輪していないか確認する。
   脱輪しているときは、扉をレールに戻す。
3. 上レールに内蔵されたスライドキャッチのフックが、下図の状態になっていないか確認する。下図の状態になっていない場合、以下の要領で調整する。

〈調整方法〉

扉を閉めると、自動的に扉を引き込むことを確認する。

〈再発の防止方法〉

扉が傾いている可能性があるので、12ページの「❶扉を閉めたとき、縦枠の上または下と扉の間にスキマができる。」の処置をする。

4. 連動ユニットと扉の連結が正しく取り付けられているか確認する。
   正しく取り付けられていない場合、11ページの「15.連動ユニットと扉の連結」の要領で、連動ユニットと扉を連結する。

■定期的な点検項目

※製品の長期間の使用に伴い、部品等が劣化（経年劣化）を生じ安全上支障が出るおそれがあります。
経年劣化による重大事故を防止し、製品を長く安全にご使用いただくために、お客様自身による以下の点検を実施いただきますよう、お願いします。

点検部位	点検項目	兆候有無	経年劣化に伴う、具体的な事象
本体	・引戸の開閉がしにくい（扉と扉、扉が枠にあたる）。	有・無	・戸車、レールの変形や破損。 ・扉のガタツキ、脱落。
上部ガイド	・上部ガイドがしっかりレールにはまっているか。	有・無	・扉のガタツキ、脱落。
下車	・下車は、しっかりレールにはまっているか。 ・下車の動きはスムーズか。	有・無	・扉のガタツキ、脱落。

ユーザー登録サービス

このたびは DAIKEN 製品をお求めいただき誠にありがとうございます。
製品を末永く安全にご愛用していただくために、ユーザー登録をお願いいたします。
ご登録いただいたお客様情報は、製品安全に関する大切なお知らせや暮らしに役立つ情報を DAIKEN からご連絡する際に、ご利用させていただきます。

ユーザー登録は無料です！！

登録はこちらから
http://www.daiken.jp/user/

ユーザー登録いただいた方には、次の特典が受けられます

特典① パーツショップ製品10%割引
ご登録いただくと、DAIKENのパーツショップ取扱製品を通常価格の10%割引でご購入いただけます。

特典② 品質保証期間の延長
ご登録いただくと、DAIKENの製品の品質保証期間（※）を延長いたします。電気製品：1年、それ以外：2年
※弊社品質保証期間内容に準拠（対象:現総合カタログ掲載製品）

木質材料の性質について

木質収納扉の「反り」について

木材を原料とする木質材料（合板、パーティクルボード、MDFなど）を加工して作られた収納扉は、空気中の水分を吸収したり放出したりすることにより、伸縮する特性を有しています。この空気中の水分の吸収・放出は、収納扉周辺の温度、湿度等の環境条件の変化に応じて発生するものであり、自然現象といえます。特に、収納扉の室内側と収納庫側の環境条件が大きく異なる場合、「反り」という現象が発生することがあります。

「反り」の発生を出来るだけ抑える方法について

ご使用の環境や設置場所によって「反り」が発生する場合があります。
「反り」の発生をできるだけ抑える方法として、次のことにご注意ください。
①エアコン、暖房器具等をお使いになる場合は、収納扉に直接熱風、熱気が当たらないようにしてください。
②夏場の冷房、梅雨時の除湿、冬場の暖房等により、室内側と収納庫側の環境条件の差を極端に大きくしないでください。
③収納扉に直接日光が当たる場合は、窓辺にカーテン、すだれ等を設けて日光を遮ってください。
発生した「反り」は室内側と収納庫側の環境条件を近づける事によって、小さくなる事があります。

商品の保証について

商品保証とは、保証期間、保証内容の範囲において故障が発生した場合に、無料で修理をお約束するものです。詳しくは、下記内容をご参照ください。

■対象商品
クローク収納

■保証期間
引渡し後2年とさせていただきます。
弊社商品の引渡し完了後に生じた、弊社の責任に起因する製品の不具合を、無料で修理する期間としています。保証期間を経過した製品においても、修理可能なものは、有償にて修理を承ります。

■製品の不具合原因が次のような場合には、保証期間内であっても「有料扱い」になります。
①建物の設計・施工に起因する不具合
②施工説明書に記載された方法以外の施工内容に起因する不具合
③自然現象・周辺環境等（※1）の不可抗力に起因する結露、腐食、反り、割れ又はその他の不具合
④室内であっても部屋内外の温湿度差が著しく違う部位に取り付けられたことによる隙間・反り・キシミ音などの不具合。
⑤極端に乾湿を繰り返したり、著しく高温・多湿となる部位に取り付けられたことに起因する不具合
⑥建物自体の変形、入居後における増改築や改修等に起因する不具合
⑦入居者又は第三者の不適切な使用又は維持管理等に起因する不具合
⑧取扱説明書記載事項から逸脱した使用に伴う、消耗、磨耗、破損、変形などによる不具合
⑨経時変化による通常一般的な当該保証対象品の変褪色、汚れ、さび、かび、劣化磨耗などの不具合
⑩用途外に使用された場合の故障および損害
（例えば、一般家庭用を業務用に、屋内用を屋外に使用された場合等）
⑪犬・猫・鳥・鼠などの小動物の害に起因する不具合やキクイムシなどの虫害に起因する不具合
⑫仕上げ面のキズなどの不具合で引渡し時に申し入れがなかった場合
⑬保証期間経過後の申し出、または不具合発生後速やかに申し出がなかった場合
⑭製造時に実用化されていた技術では予測することが不可能な事象に起因する場合
⑮その他当該不具合の発生が弊社の責によらない場合
※1：周辺環境等：火災・地震・水害・落雷などの天災地変や、公害・塩害・ガス害や異常な高温・低温・多湿・過乾燥などの周辺環境

製品に関するご相談は…

製品全般に関するご相談は

お客様センター

0120-787-505
受付時間：平日9：00～17：00
（土・日・祝日・年末年始・お盆は休みとなります。）

お問い合わせ、カタログ請求は、Webでも！
大建工業のホームページのご案内
DAIKEN 検索 カチッ

有償修理に関するご相談は…

有償の修理・部品交換のご相談・ご依頼は

ダイケンホーム&サービス（株）

大阪 **TEL（06）4257-3121**
受付時間：平日9：00～17：00
（土・日・祝日・年末年始・お盆は休みとなります。）

部品交換に関するご相談は…

交換部品・メンテナンス用品のご購入は

DAIKEN パーツショップ

DAIKENパーツショップ 検索 カチッ

http://www.daiken.jp/service/

ご相談窓口における個人情報のお取扱い
大建工業株式会社及び大建工業グループ各社は、当社「個人情報の取扱いに関する方針（プライバシーポリシー）」に則ってお客様に関する個人情報を利用させていただく場合がございます。（大建工業株式会社プライバシーポリシーに関しましては、当社ホームページに掲載しております。）尚、電話での相談に対し、折り返し電話をさせていただく時のためにナンバーディスプレイを採用しています。またご相談内容を正確に把握し、適切に対応するために、通話内容を録音させていただくことがあります。

北海道営業部
TEL（011）207-5330
FAX（011）207-5900

東北営業統括部
TEL（022）762-8980
FAX（022）762-8391

関東営業部
TEL（028）621-6431
FAX（028）621-5413

首都圏営業部
TEL（03）6271-7731
FAX（03）5296-4061

中京営業統括部
TEL（052）205-5811
FAX（052）205-5805

北陸営業部
TEL（076）262-3211
FAX（076）262-1970

近畿営業部
TEL（06）6452-6200
FAX（06）6452-6057

中国営業部
TEL（082）505-2525
FAX（082）505-2526

四国営業部
TEL（087）866-8500
FAX（087）866-8828

九州営業統括部
TEL（092）413-2345
FAX（092）413-2555

東部住宅営業部
TEL（03）6271-7721
FAX（03）5296-4055

西部住宅営業部
TEL（06）6452-6232
FAX（06）6452-6063

集合住宅営業部
東京
TEL（03）6271-7751
FAX（03）5296-4060
大阪
TEL（06）6452-6243
FAX（06）6452-6099

リテール営業部
東京
TEL（03）6271-7755
FAX（03）5296-4043
大阪
TEL（06）6452-6374
FAX（06）6452-6065

大建工業株式会社

DAIKENのホームページアドレス　http://www.daiken.jp/

2012.4 現在